

浜田市議会石見神楽振興議員連盟からの意見について

現在、浜田市と浜田市議会石見神楽振興議員連盟（全議員が参加）は、石見神楽伝承内容検討専門委員会の進め方や会議結果の報告など、随時意見交換を行いながら、石見神楽の保存・伝承に向けた取組を進めています。

この過程の中で、浜田市議会石見神楽振興議員連盟の皆さんから頂いた意見について、ご参考までにお知らせします。

主な意見

- ・浜田市において、委員への個別ヒアリングは実施されたが、必要に応じて委員以外へのヒアリングについても検討してほしい。
- ・第3回専門委員会で意見のあった、新たな団体（中間支援組織）の設置については、これまで行政や民間がバラバラで取組を推進してきたが、それらを繋ぎ合わせることができると考える。
- ・「石見神楽を創り出したまち浜田」として、駅前に神楽時計や石像はあるが、まちとしての雰囲気づくり、演出などが不十分である。また、石見神楽に関連したお土産などの商品開発をもっと行うべき。
- ・自分が所属している地区まちづくり推進委員会において、夜明け舞や花を打つ文化について地域の理解が得られるよう説明しようと考えている。
- ・浜田の石見神楽の特徴や定義付けが必要（なぜ発祥の地と言えるのか等）。
- ・夜明け舞について、観光客がどれくらい関心を持つかはわからないが、観光振興策の1つとして検討してもよいのではないか。
- ・各地域の神社等で行われている奉納神楽の情報発信も必要。情報があれば、神楽を見に祭りに行く人が増えるし、子どもたちも神楽を見に行くところから舞い手へと繋がることもあると思う。
- ・これまでの専門委員会での意見を踏まえて、新たに見えてきた視点や課題についてもしっかりと議論し、提言書に反映させてほしい。
- ・市内の宮を回ると、江戸時代末期くらいの面が残っていることがある。そういった歴史的なものを次の時代に伝えていくことは必要。
- ・舞の起源は神職の舞から伝わっているので、大事にしてほしい。
- ・石見神楽は県西部全域に伝播しているため、広域的な視点で他の市町との連携も含めて考えてほしい。
- ・太鼓や笛なども社中ごとに違うので、舞い手の伝承だけでなく、奏楽の伝承も考えてほしい。